

Focus モードの使用

この補足は、SecurView バージョン 10.1.2 以降に適用されます。今後参照するため、本文書を *SecurView DX/RT Workstation ユーザーガイド* とともに保管してください。

SecurView バージョン 10.1.2 以降では、Focus モードを使用すると、Hologic 合成 2D (Intelligent 2D™ または C-View™) 画像の関心部位から最も代表的な再構成スライスまでの相関関係を簡単に視覚化できます。Focus モードは 1 画像および 2 画像のタイリングで使用できます。



注記

Focus ボタンは、合成 2D 画像および対応する再構成スライスが横並びの場合にのみ、合成 2D 画像のタイルに表示されます。2 画像タイリングでは、左側または右側の近接するタイルに表示する必要があります。



注記

「Omit Tomosynthesis Tools (トモシンセシスツールの除外)」がタイルに設定されている場合でも、Focus ボタンは表示されます。(「Omit Tomosynthesis Tools (トモシンセシスツールの除外)」の詳細については、*SecurView DX/RT Workstation ユーザーガイド* を参照してください。)

Focus を使用するには：



フォーカス

1. 合成 2D 画像を表示しているタイルで **Focus** をクリックするか、キーボードで **[V]** キーを押して、タイルの Focus モードを有効にします。ポインタが十字線に変わり Focus モードが有効になったことを示します。



注記

Focus モードは Focus ボタンがクリックされたタイルでのみ有効になります。



注記

Focus モードは無効にしない限り、有効のまま維持されます (手順 3 を参照)。機能を有効にせずに単一事例で Focus を適用するには、キーボードの **[CTRL]** を押した状態で合成 2D 画像内をマウスの左ボタンでクリックします。

2. 合成 2D 画像内の関心部位をクリックします。関連する再構成スライスのタイルが最も代表的なスライスに切り替わります。



注記

Focus データが破損している場合は、表示されたスライスは最も代表的なスライスにならない場合があります。

- a. ポインタが合成 2D 画像のタイル内にある場合は、スクロール (例えば、スクロールホイールを使用する) が対応する再構成スライスのタイルに適用されます。
- b. シネモードがフォーカスした再構成スライスに適用されている場合は、ローカルシネモードがフォーカスされた再構成スライスにセンタースライスとして自動的に適用されます。

**注記**

拡大鏡内をクリックすると、Focus モードは有効になりません。

**注記**

画像の背景をクリックすると、対応するフォーカスされた再構成スライスは割り当てられません。現在表示されている再構成スライスは変更されません。

3. 合成 2D 画像を表示しているタイルで **Focus** をクリックするか、**[V]**キーを押して、タイルの Focus モードを無効にします。

**注記**

Focus モードは、別の画像評価ツールを選択しても無効になりません。

**注記**

ReportFlow の次のステップまたは前のステップに移る、別の画像を MammoNavigator から手動でドラッグする、Tomosynthesis Navigation ボタンを使用するか事前定義したハンギングボタンをクリックして別の画像に切り替えるなどにより現在のハンギングが変更されると、Focus モードは自動的に無効になります。